

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 _____

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 (_____)

住所 〒563-0026

大阪府池田市緑丘1-5-1

E-mail : asp-ikeda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

Website : http://www.ikeda-h.oku.ed.jp/

児童生徒数：男子 225名 女子 262名 合計 487

名

児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (_____)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。
1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

- ・第1学年は、年間を通じて週1時間、総合的な学習の時間において、ESDを中心とした学習活動を実施。3に記載の各分野について、前半は教員よりの講義、後半はグループに分かれ、テーマを決めて調べ発表する活動を行う。また、英語科の授業において、調べた事を英語で報告する活動を行った。
- ・第2学年は、年間を通じて週2時間、総合的な学習の時間において、ESDを中心とした学習活動を実施。前半は3に記載の各分野についてアジアの各国について調べ発表し、後半は調べた事を深め、模擬授業を生徒に対して行う活動をする。特に、今年度は修学旅行でマレーシアを訪れ、マラヤ大学の学生との交流において、調べたことに基づいて意見交換を行う活動を行った。
- ・韓国の連携校へ、高校生8名、教員2名が訪問し、水原華城などの世界遺産、世界初の金属活字印刷などの文化に触れ、共に学ぶ活動をした。また、合同でテンプルステイを行った。
- ・「太平洋地域 ESD 高校生フォーラム」の準備セミナーに代表が参加し、1年間の研修を行った。校内においては、参加できなかった生徒を含め伝達を主な目的とした研修を行った。
- ・「太平洋地域 ESD 高校生フォーラム」に参加し、各役割を担うと同時にディスカッションに参加して、多くの学びを得た。
- ・ユネスコ部を中心として「stand up take action」に参加した。
- ・ユネスコ部のメンバーで模擬国連に参加し、全日本大会にも参加した。2チーム出場したうちの1チームはニューヨークで行われる国際大会への参加資格を得た。
- ・ユネスコ部としてワンワールドフェスティバルに参加した。
- ・文化祭においてもユネスコ部として展示、フェアトレードバナナの販売等、啓発活動を行った。
- ・継続してペットボトルキャップ収集を行うと同時に、ベルマークの収集も開始した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)